

カトリック

広島教区報

被爆六十五周年を迎えて

広島教区司教 三末 篤實

私たちは今年で被爆六十五周年を迎えました。全世界の国々、とくに被爆国日本の広島と長崎は、歳月の流れの早さにあ然とさせられる感じです。その間多くの平和運動が全世界的に展開され、今日を迎えておりますが、それによって平和の実現を見ることができたのでしょうか。答えは殆んど否定的であると言わざるをえません。国際平和会議、核拡散防止条約再検

討会議、核をなくす会議等々、数多くの会議が国際間、各国間、各運動グループ間に行われ、更にマスメディアを通して広く世界各地へ報道されています。しかし、現実の社会は平和になり、すべての人が安心して平和のうちに生活することができていないのでしょうか。民族・文化・宗教等々を根底とした「エゴイズム」によって人々の安心と平和は破壊され容易に実現されていないのが実状です。



私たちはそのような現実をわきまえ、具体的な行動をとらなければなりません。教皇パウロ

No. 81

カトリック 広島司教区

発行責任者 広報担当 服部大介神父

広島市中区鞆町 4-42 広島司教館内 TEL (082)221-6017

六世は、その書簡の中で「平和は神からの賜物である。」とのべられています。私たちは自分の力だけで平和を創造しようとしても、それは単に人間的なものになるだけでしよう。祈ることによって超自然的な力、神の助力をえてはじめて実現可能となることを忘れてはなりません。

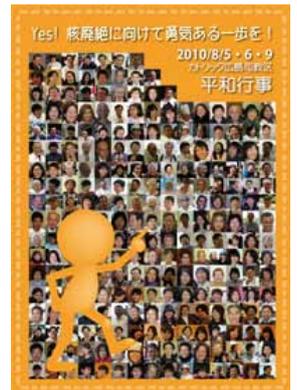
キリストは「平和をつくる人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ五の九)」と言われているが、神との関わりなしでは真の平和の実現は不可能です。

被爆六十五周年を迎えて今一度決意を新たにし、祈りと具体的な日々の生活を通して愛の実践に努め、身近なところから平和の実現に向って第一歩を進めようではありませんか。

平和実現のため最善を尽くしつつ皆様のうえに神の祝福をお祈りいたします。

2010 平和行事 「Yes! 核廃絶に向けて 勇気ある一步を！」

日時：8月5日(木) 6日(金) 9日(月)
場所：世界平和記念聖堂他



平和行事 2010 ポスター

平和行事 主なプログラム

〔八月五日の主なプログラム〕

○日韓併合百年写真展

○シンポジウム 十三時～十五時
今年の五月、ニューヨークで核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれました。NPTに向けての活動に関わった方々の体験を分かち合ってください。

○被爆証言 十五時半～十六時半
軍都廣島の足跡をめぐり近代化日本の戦争の歴史を振り返ります。

○子どもプログラム 十五時半～十七時半
被爆者の証言を聴き、作業をしながら平和について考えます。

〔八月六日の主なプログラム〕

○原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ 八時～九時

○NPT会議の体験や米国の現状などについての報告会 九時十五分～十時四十五分
報告者は、長崎教区高見大司教と米国の核問題専門家ドクター・コレッキ氏です。

○キリスト者平和の祈り 十四時～十五時半
プロテスタントとカトリックがともに集い心をひとつにして平和実現のために祈ります。

○原爆犠牲者のためのスピリチュアルコンサート 十八時～二十一時
エザベト音楽大学同窓会

○原爆供養塔前での祈りの集い 十七時十五分～十七時五十分
○平和行進(原爆供養塔前～本通り) 世界平和記念聖堂) 十七時五十分～十八時半
○平和祈願ミサ 十九時～二十時十五分

教区の動き

平和の使徒推進本部

二〇一〇年度第一回広島司教区宣教司牧評議会開催と
 二〇一〇広島教区代表者会議に向けて

去る六月十三日、二〇一〇年度第一回広島司教区宣教司牧評議会(以下、教区宣司評)が、広島カトリック会館多目的ホールで開催された。三末司教、司祭、修道者、信徒の二十一名が出席しての開催であった。

まず、六月六日に行われた三末司教叙階(着座)二十五周年記念行事の報告があり、千三百人の予想を超える千五百人弱の方が集う行事であったこと、天候にも恵まれ大盛況のうちに終わったこと、前日五日に行われた世代別プレイベントに参加された方は、大いに満足されたこと、この行事を通して与えられた神様からのお恵みと感謝の気持ちで報告された。

また今回の教区宣司評では、次の議題について協議された。

一つ目は、広島教区二〇一〇年度年間テーマ

「平和の使徒となろう」神さまの呼びかけにこたえて「」の教区民への浸透について各地区・ブロックからの報告があった。状況としては、各地区、ブロックレベルの評議会と

として取り上げていられるものの、意識の差があることは否めず、全体的にはあまり浸透していない現状が伺えるが、過去の状況から評価すれば、テーマに沿った取り組みを意識している小教区が少しずつ増えてきていることも事実のようである。

二つ目は、十一月二十三日に開催される「二〇一〇広島教区代表者会議(以下、代表者会議)」に向けての教区の現状と、各地区・ブロックの取り組み状況が報



平和の使徒推進本部

告された。

今回開催される代表者会議の趣旨は、二〇一〇五年に開催された前回の代表者会議から、ちょうど五年の節目を迎えたことを受け、この五年間を振り返り、その歩みを分析すると共に、現在の広島教区の状況を共有し、これからの五年の広島教区が歩む方向性を確認することである。

「過去：五年の振り返り」↓「現在：現状分析」↓「未来：これからの展望」

そのためには、「きょうどう」をキーワードとして、地区(ブロック)の推進力を増すことが重要であり、教区民一人ひとりと課題および課題への取り組みを「可視化」「共有化」することがこれからの大きな課題であると言える。

現在、各地区では、

(一) 代表者会議当日の出席者の選出

(二) 二〇一〇六年広島教区宣教司牧に関する司教宣言

『平和の使徒となろう』のガイドラインについての振り返りと分析を行うための準備を進めている。

出席者については、各地区がこれから歩む方向性において、「誰が出席し、何を考え、何をやる」かが重要な課題であり、実りある代表者会議にするために真剣に検討することが必要である。

司教宣言『平和の使徒となろう』のガイドラインについては、時代と共に見直しが必要であることは確かであり、この代表者会議で得た「これから歩む方向性」により、ガイドラインの追加・修正することを目に見えろひとつの成果としたい。

以上の内容が協議され、終わりの祈りと祝福により本評議会を閉会した。

次回は十二月十二日に第二回が行われる予定である。この教区宣司評は、評議員によって構成された評議会であるが、「神さまの呼びかけにこたえて」実践していく広島教区民である私たち一人ひとりの意見も

必要です。質問や要望などは、平和の使徒推進本部にお問い合わせください。
 (平和の使徒推進本部)

三末司教様叙階着座二十五周年記念行事を終えて

六月六日は、三末司教様の広島教区着座二十五周年と同時に、司祭・修道女の金銀祝、釜山・インファンタとの三教区姉妹縁組十年のお祝いも兼ねた行事になった。教区内の五十近くの教会から世界平和記念聖堂に集い、千人を超える大祝賀行事になった。中心となって働いていただいた幟町教会の信徒の皆さんを始め、広島地区の皆さんの献身的な協力により、限られた時間内で、記念ミサと祝賀パーティーともに滞りなく運び、迎えた人も参加した人も皆喜びのうちに行事を終えることができた。素晴らしい機会を与えてくださった司教様と神様に感謝。

記念行事実行委員
 幟町教会 栗栖 徹

パ・様から、お祝いの手紙

教皇ベネディクト十六世から三末司教に司教叙階二十五周年のお祝いの手紙が送られた。紋章と署名入りのものでラテン語、日本語訳も添えられている。

(日本語訳全文)

親愛なる兄弟

ヨセフ三末篤實

広島司教様

私は、敬愛する兄弟である司教様とともに、ここから感謝を味わっています。またこれらのごよびによって、司教様の生涯に



教皇から送られたの手紙 (ラテン語)



記念ミサの様子

とつて幸いな記念すべき、司教叙階二十五周年のお祝いをともにしたいと思えます。

加えて、感慨深いこの記念日に向けての善意を込めた私のことばと祈りを、教会の信仰共同体に属する最愛の聖職者・信徒の皆様と共有することを望みます。その日、司教様は、使徒の後継者たちとの交わりの中に置かれ、聖なる完全な叙階によって強められ、教会の建設のために司教に立てられました。その教会は、全人類の救いと一致に向けられた普遍的な秘跡であります。(第二バチカン公会議

現代世界憲章一参照)

長崎大司教区の司祭、日本カトリック司教協議会事務局長として敏腕を振っておられ、秀でた学識と聡明な精神に恵まれ、教会の事情に通じておられた司教様を、私の前任者である神のしもべヨハネ・パウロ二世が、一九八五年に広島教区司教、いわば教区の父に任命されました。このことは歴史に明確に刻まれています。

極めて重要な司牧の任務を遂行しておられる司教様は、これまでも、そして現在も、信者の霊的な健全さと人間的な成長に強い関心を示されておられます。教会との親密な交わりと教導職に結ばれた司教様は、信者たちに神のみ旨を教え、めぐみの諸秘跡によって彼らを聖化なさいました。ですから、このような喜ばしいあなたの司教職の記憶の中で、私は、実り多いあなたの司牧の働きを思い起こします。それらを、司教様は神と人への奉仕において行ってこられたのであります。そこで胸に突き上げる

ような歌を捧げましょう。「わたしの魂よ、主をたたえよ。主よ、わたしの神よ、あなたは偉大な方、命ある限り、わたしは主に向かって歌い、長らえる限り、私の神にほめ歌を歌おう」(詩編一〇四 一の三十三)



記念ミサ集合者写真 世界平和記念聖堂

牧者のかしらであるキリストは、救いの曙、取りなしの処女聖マリアによって、あなたをその愛のうちに守られますように。また霊的な慰めで満ちし、末永い幸せが与えられますように。

これらを述べ伝えながら、敬愛する兄弟である司教様に使徒的な祝福を送ります。また司教様をおして、使徒聖ペトロ・聖パウロの豊かな実りが溢れる町から、この使徒的祝福を広島教区の共同体に送ります。

「私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように」(二テサロニケ三の十八)。

敬愛する日本の子らへ。

バチカンにて
二〇一〇年五月十七日
教皇在位第六年
ベネディクト十六世

区長 荻神父)、広島地区(地区長 後藤神父)、山口・島根地区です。最終回の今号は、山口・島根地区です。

司祭年特集
小教区で働く司祭③
山口・島根地区

神父
月5日
31日



⑳出雲教会
ススキダノボル
薄田 昇 神父
出身：岡山県
生年月日：1929年4月15日
叙階日：1964年3月18日
洗礼名：フランシスコ・サビエル
叙階記念カードのことは：
見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。(エゼキエル 34：11)

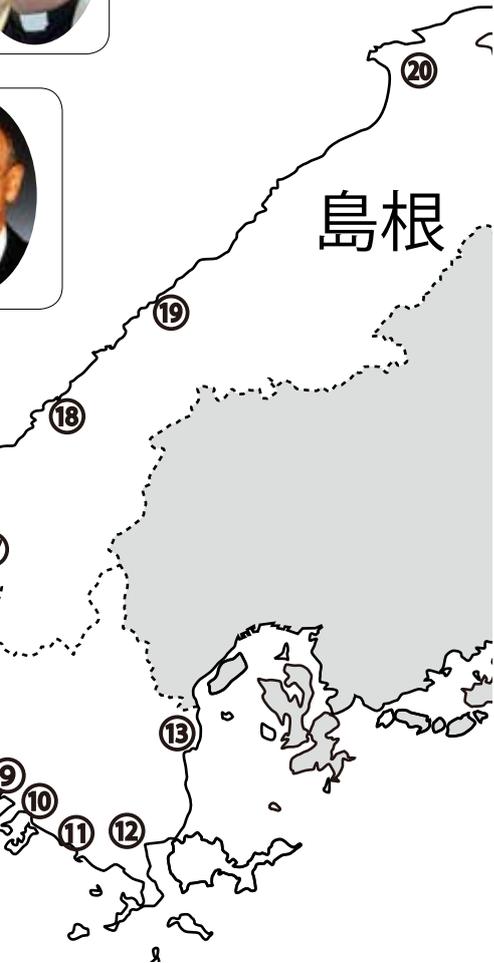


⑰津和野教会
ニシヤマカズオ
西山 和男 神父
出身：京都府
生年月日：1937年5月17日
叙階日：1978年3月18日
洗礼名：アウグスチヌス
叙階記念カードのことは：
天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。(マタイ 5：48)



⑲浜田教会
モレノ・アルフォンソ 神父
出身：スペイン
生年月日：1927年6月20日
叙階日：1958年3月18日
洗礼名：アルフォンソ
叙階記念カードのことは：
力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。(マリアの賛歌、ルカ 1：49)



⑪光教会 ⑫柳井教会 (岩徳ブロック)
アルティリョ・ホアン 神父
出身：スペイン
生年月日：1932年5月6日
叙階日：1983年7月24日
洗礼名：ヨハネ



⑬岩国教会 (岩徳ブロック)
キリストバル・バリヨヌエボ 神父
出身：スペイン
生年月日：1924年7月22日
叙階日：1957年7月15日
洗礼名：キリストバル・マリア
叙階記念カードのことは：
我を愛し給うた。(グラナダ)



⑨徳山教会 ⑩下松教会 (岩徳ブロック)
ナカムラケンゾウ
中村 健三 神父
出身：兵庫県
生年月日：1939年6月12日
叙階日：1970年3月14日
洗礼名：ニコラウス
叙階記念カードのことは：
愛と慈しみのある処、神はそこに共に居る。



⑨徳山教会 (岩徳ブロック)
オレギ・イグナチオ 神父
出身：スペイン
生年月日：1930年8月9日
叙階日：1983年7月16日
洗礼名：イグナチオ
叙階記念カードのことは：
宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。(ローマ 10：14)



⑨徳山教会 (岩徳ブロック)
モラーレス・ホセ 神父
出身：スペイン
生年月日：1926年11月19日
叙階日：1962年3月18日
洗礼名：ホセ



⑨宇部教会 (宇部小野田ブロック)
フェデリコ 神父
出身：スペイン
生年月日：1929年12月9日
叙階日：1962年3月18日
洗礼名：フェデリコ



⑦宇部教会 (宇部小野田ブロック)
ミキタトラフ
三喜田 虎太 神父
出身：長野県
生年月日：1926年3月31日
叙階日：1962年3月18日
洗礼名：イサク
叙階記念カードのことは：
神は愛です。(1ヨハネ 4：8, 16)



⑦宇部教会 (宇部小野田ブロック)
イケヅリヒロコキ
池尻 廣幸 神父
出身：広島県
生年月日：1942年3月1日
叙階日：1972年3月18日
洗礼名：ドミニコ S



教区報では、司祭年特別企画として3号にわたって、岡山・鳥取地区（地根地区（地区長 佐々木神父）の3地区の教会で働く司祭の紹介を行って
*山口・島根地区は、全てイエズス会の司祭です。

⑭山口修道院

佐々木 良晴 神父

出身：東京都
生年月日：1942年6月15日
叙階日：1979年12月2日
洗礼名：アシジのフランシスコ
叙階記念カードのことば：
生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられる。（ガラテア2：20）



⑭山口修道院（山口教会協力）

高橋 義博 神父

出身：東京都
生年月日：1929年3月10日
叙階日：1968年12月14日
洗礼名：フランシスコ・サビエル
叙階記念カードのことば：
力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。（マリアの賛歌、ルカ1：49）



⑭山口修道院（山口教会協力）

百瀬 文晃 神父

出身：東京都
生年月日：1940年7月30日
叙階日：1970年7月25日
洗礼名：ベトロ
叙階記念カードのことば：
全世界をめぐり、私たちの働きによってただ一人の人にでも真の喜びをもたらすとすれば、私たちの人生は無駄ではない。（聖イグナチオ・デ・ロヨラの言葉）



③長府教会（下関ブロック）

田丸 篤 神父

出身：佐賀県
生年月日：1963年7月5日
叙階日：2002年3月21日
洗礼名：ハインリッヒ
叙階記念カードのことば：
あの方のおっしゃることは何でもそれとおりにしてください。（ヨハネ2：5）



④下関労働教育センター

林 尚志 神父

出身：東京都
生年月日：1934年9月4日
叙階日：1969年3月15日
洗礼名：洗礼者ヨハネ
叙階記念カードのことば：
私は火を持ってきた。その火がすでに燃えていたらと、どんなに願っていることか。（ルカ12：49）



⑮山口教会（山口ブロック）

加藤 信也 神父

出身：岐阜県
生年月日：1952年2月9日
叙階日：1997年9月20日
洗礼名：アシジのフランシスコ
叙階記念カードのことば：
見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。（ヨハネの黙示録3：20）



⑮山口教会（山口ブロック）

カンガス・ルイス 神父

出身：スペイン
生年月日：1926年6月25日
叙階日：1958年3月18日
洗礼名：ルイス
叙階記念カードのことば：
喜びを持って、主に仕える。（詩篇100）



①彦島教会 ②細江教会（下関ブロック）

李 相源 神父

出身：韓国
生年月日：1961年3月12日
叙階日：2001年9月29日
洗礼名：使徒ヨハネ
叙階記念カードのことば：
初めに道があった。（ヨハネ1：1, 中国語訳）



②細江教会（下関ブロック）

リントホルスト・トマス 神父

出身：オランダ
生年月日：1920年7月7日
叙階日：1951年8月22日
洗礼名：トマス
叙階記念カードのことば：
神に感謝をささげてその名をたたえよう。そのあわれみは限りなくそのまことは世々に及ぶ。（詩編100）



⑱益田教会

バラ・ホセ・ミゲル

出身：スペイン
生年月日：1931年7月
叙階日：1962年7月
洗礼名：ホセ・ミゲル

⑮萩教会（山口ブロック）

恩地 誠 神父

出身：山口県
生年月日：1949年3月13日
叙階日：1992年11月28日
洗礼名：ユスト
叙階記念カードのことば：
私たちは、私たちに對する神の愛を知り、また信じています。（1ヨハネ4：16）

⑧防府教会（山口ブロック）

小崎 次郎 神父

出身：米国
生年月日：1927年9月13日
叙階日：1960年3月18日
洗礼名：グレゴリー



⑥高千帆教会 ⑦宇部教会（宇部小野田ブロック）

バリカマル・アレキサンダー（アレックス）神父

出身：インド
生年月日：1957年2月7日
叙階日：1992年8月8日
洗礼名：アレキサンダー



⑤北若山教会

アルカラ

出身：スベ
生年月日：
叙階日：1
洗礼名：フ

地区便り

岡山・鳥取地区

六月二十七日(日)に玉野教会の献堂三十周年記念式典が行われました。梅雨の折、天気が心配でしたが、雨も降らず、三末司教様をお迎えして盛大に行われました。岡山、岡山南、倉敷、玉島、水島、笠岡、福山、津山それぞれの教会から百四十八名が集いました。十時半から日本語と英語による記念ミサが、その後信徒手作りのご馳走いっぱいのお祝いパーティーが行われました。



玉野教会 集合写真

記念品として韓国のロザリオをいただきました。神父様の一人ひとりによせ

る祈り、地域に働きかけられる姿には、すばらしいものを感じました。祭壇には「祈る共同体になろう」が掲げられました。

山口・島根地区

カトリック障害者連絡協議会研修会 七月三日(土)に萩教会に於いて二〇一〇年度の研修会が行われた。今回は、「回天」特攻隊員から敗戦後にイエズス会に入り、現在長崎修道院におられる大木章次郎神父様をお招きし、ネパール国での三十二年間聴覚障がい児の言語教育など身体障がい児を支えてこられた神父様のお話を伺った。

日韓カトリック青少年の集い 八月九日(月)から十二日(木)の集いに向けて、二度の準備会開催。八月十日に、広島で平和学習。日本側学生二十名、韓国側学生五十名参加予定。信徒使徒職協議会 定例会は九月十二日(日)。養成研修 これからの予定 ＊社会教説宿泊研修(林神父) 八月二十一日(土)から二十二日(日)、下関

労働教育センターにて。

＊祈りの体験研修後期(ラフォント神父) 第三回目 九月十八日(土)、地区事務局にて。

＊信者養成研修会 『信徒の神学』(百瀬神父)

第二回目：九月二十五日(土)から二十六日(日)、宗像の黙想の家にて。テーマは「神への憧れと祈り」

広島地区

六月で、広島地区「週報」が一周年となった。広島地区「きょうどう推進チーム」が編集を担当し、毎週木曜日まで各小教区から地区センター届いた情報を整理し、金曜日にメールとファクシミリで配信した。難病の幼い子の手術のためのカンパの呼びかけや、聖パウロ書院の新刊案内など、多目的に活用いただいている。

「平和推進チーム」は平和行事の準備で大忙し。「養成推進チーム」は集会祭儀式者養成など、私たちの信仰生活の「核」となるところで活動している。

海峡からの風 19

下関労働教育センターだより

●「春との旅」という映画を見ました。手足が不自由な老人が、自分の介護から孫娘を解放するため、疎遠な兄弟たちと同居することを決め、孫娘と共に訪ね歩きます。●しかし、物語が進むにつれ、老人のわがままな性格によって、兄弟の信頼関係はすでに崩れていることが明らかになります。●次々に同居を断られ、ケンカをするそんな老人に孫娘は、時に怒りながらも「おじいちゃんと一緒に暮らすから」と言い続けます。●どんな人間でも、誰からも相手にされず、無関心に捨て置かれたら肉体的な生命は維持されていても、人が人らしく生きていくといえませんが、「無関心が最大の罪」とはマザー・テレサの言葉ですが、「罪ではないの、愛が足りないの。」と言った林神父の言葉がとても印象的です。●老人は兄弟達から拒絶されますが、彼らにも事情があります。

した。孤独をかみ締めて途方に暮れる中、孫娘は突然両親の離婚で別れた父親に会いに行きます。孫娘は、父親が自分を置いて出て行かざるをえなかった理由を知っていますが、父親の口からその理由を聞くことで、捨てられたのではないことを確信したいのです。●父親は泣いて娘を抱きしめ、老人は父親の再婚者から、「私の父のように思えてならない」と同居を勧められ、父親が老人を慕っていたことを告げられます。●老人と孫娘の旅は、再会する人びとと、人との関係を見つめ直し、再生する歩みだったのです。●老人は再婚者と、孫娘は父と、これまで満たされなかった関係を相互に補完し合うのです。●二人は申し合わせたように、「帰ろうか」と頷き合って、手を繋いでこつそりと父親の家を後にします。足りなかった愛の回復が、その足取を軽やかにしていました。

(細江教会・廣崎リュウ)

南米出身の信徒と関わって早や十八年

J-CaRM 広島便り

三原教会 アルナルド・ネグリ神父

一九九二年九月、日本に派遣された私(当時三十一才)は広島県の観音町教会、兵庫の加古川教会、再び広島廿日市教会、福山教会を経て現在の三原教会など各地で南米出身の信徒と関わってきた。観音町教会主任だった肥塚神父様から「シスター八木橋が近くブラジルから帰国なさるので



おふたりで、海田町で働いている多くのブラジルの人たちにポルトガル語ミサができませんか？」と提案

され、西川神父様の妹様(故人)が用意して下さいました場所ので捧げたミサがスタートであった。また当時、観音町教会でバリオヌエボ神父様が隔週のスペイン語ミサをなさっていて『マノス・ウニダス』というボランティアアグループの活動を中心に多くのペルー人も集まっていた。

これは私にとってスペイン語との出会いでもあり、日本語の勉強に加えてスペイン語やポルトガル語の勉強を肥塚神父様と朝食をとりながらNHKラジオ講座を聴くなどで頑張った日々が懐かしい。

さて、南米出身の人たちは伝統的に幼児洗礼を受けたカトリックだが、信仰教育が身につけておらず初聖体や堅信を受けないまま成人し結婚も教会ではない人が多いのが実状だ。日本で働いている人たちも信仰を求めてというより生活

上の助け合いの場所として教会に来ていた。病院・市役所・学校に行くので通訳をして下さい、仕事の情報を下さい、職場で困っています・・・と相談に来る。どの人も司祭の立場を信頼しているから夫婦や親子間の問題での相談もくる。私は勿論こうした生活上の助けに尽力しているが、同時に教会やイエス様のこと、



信徒の務めなどを彼らに教えることの必要にも迫られてきた。

この信仰教育面で、どうやって導いてきたか、その活動や方法について 次号でお話したいと思う。

(次号につづく)

広島教区の施設 ⑧ 清心中学校・清心女子高等学校 (倉敷)

清心中学校・清心女子高等学校

清心中学校・清心女子高等学校は、ノートルダム清心学園の創立者ジュリー・ベリアートの教育理念を継承し、時代にあつた知性と豊かな情操をそなえる女性の育成を教育の目標としています。「心を清くし、愛の人であれ」という校訓のもと、真に正しい価値観と高い道徳性を養い、自分自身を大切にすると同時に、神が愛されるすべての人に関心を寄せる広い心を育てるため、独自の教育内容を充実させ、深化させています。



高校では、〇六年から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定され、理系分野での女子教育の支援に力を入れる一方、一〇年度からは「難関大学進学支援プログラム」をスタートさせ、文系・

理系を問わず、よりハイレベルな研究・大学進学をサポートを行っています。

中学校では、毎日七時間の授業を行い、特に英語は公立中学校の約三倍の授業時間を確保しています。カトリック系中高一貫校が採用し、実績を上げている教科書「PROGRESS IN ENGLISH 21」を使用し、基礎からしっかり指導します。また、帰国子女などが対象の少人数クラス「NEPI」では、専任のネイティブ教師が英語で授業を行い、より実践的な英語力を磨きます。さらに、日常的に基礎学力を定着させる指導をしながら、総合学力を身につけるといふ観点から、校外学習・豊富な実験、調べ学習を通じて興味・関心を深め、まとめる力や発表力を育てています。このようなきめ細かい指導の結果、中学校三年間で三教科総合学力が飛躍的にアップします。

今後も、六年一貫教育システムをさらに充実させつつ、岡山県下唯一のカトリック系女子校としての伝統と歴史を重んじつつ、新しい時代に対応し、変化し続ける学校でありたいと考えています。

(清心中学・高校 新谷記)

青少年の活動

教区青年大会の報告

五月三〜四日の二日間、広島市の鞆町教会にて第四回青年大会を行いました。テーマは「未来の教会四〜

兄弟姉妹になろう〜」でした。普段、教会に集まる青年同士でも、つい同じ年代、同じ地区の青年と一緒に居て過ごしてしまいます。そこで、今回の青年大会では、年代を超えたつながり、地

区を超えたつながりを意識し、自分たち青年はこれから教会の中で何ができるのかを考えました。いつも教会に来ていた青年から、様々な理由から教会に来ることができない青年まで、色々な意見が飛び交い、と

に命を捧げたいと思いましたが。そして日本を訪れ、現在まで後悔したことはありません。日本でのこの六十年間を振り返って考えると、日本は大きく三つの時代に分けることができますかと思えます。最初の十年は戦後で豊かではなかったけれど、穏やかなゆとりある毎日でした。第二の時代は、ちょうどニューヨークから帰った頃で、「焦り」の時代になったと感じました。第三の時代は、一九七〇年頃から今までは、「不安で落ち着きの無い」、無関心と諦めが心に入り、最低限度のことだけやる時代になりました。もちろん例外は沢山あります。このような人生を生きている人が多いと感じます。希望を持って生きている人もいれば虚しい毎日を送っている人もいます。

今回の青年大会を通して、年代・教区・地区・小教区を超えたつながりを青年同士が実感し、今後その仲間と共に、教会に奉仕していけたらと思います。

六十周年を迎えて



鞆町修道院 イエズス会士
ルチアノ・ベルタニョリオ神父

この五月で八十七歳になりました。日本に来てから、ちょうど六十年経ちました。

最初に広島に住み、その後東京とニューヨークで勉強を終えてからはずっと広島に滞在しています。

イタリアに生まれ、すべての若者がそうであるように、子どもの頃から

大きな夢を見て生きていました。それはすなわち「幸せを手に入れること」でした。しかし、人生の物足りなさを感じ、十五歳になっても心が満たされませんでした。

「人は永遠の渇きを持っていくものだから」一七〇〇年ほど前に偉大な思想家が言われた通りに「人間は神から造られて、神に委ねることによって、落ち着きを見つけない」

この言葉に私は目覚めて司祭の道に入りました。イタリアを出てどこでもいいから人の役に立つという、新しい夢

人もいます。来日してエリザベト音楽大で教鞭をとり、一九七七年に「カント イタリアアーノ」というグループを発足させ、今年、第六十回演奏会を迎えることができました。

一九八九年から二〇〇二年までは少し手を広げ、広島では見られないオペラも紹介しました。

弟子たちの数も増えて、東京では一九七六年から、福岡では二〇〇〇年から、各々新しいグループもでき、毎月レッスンに出かけ、毎年二回ずつ広島と同じように演奏会をしています。

自分としては広島の人になりきって、人生を楽しんでいます。そして、これからは、少しでも人の役に立つことができれば、生きる意味があると思います。

教区練成会のお知らせ

「平和行事初体験！」

〜神さまの呼びかけにこたえて〜

日時：八月四日〜六日

場所：観音町教会（広島）

対象：小五〜中三

詳しくは、各小教区配布の案内もしくは青少年情報センターのHPをご覧ください。



昼食の様子 皆で美味しくいただきました



忙しい時に限って想定外のことが起こり、仕事が滞る。パソコンのフリーズ、ケガや病氣、訃報・・・。台風ならともかく、梅雨前線活発化で数日間も休校になるのは初めてだ。祈りのうちにゆとりを持って仕事に励もう！（か）



<66>